

第 46 回日本化粧品学会 発表申し込み/要旨原稿投稿 Web 受付のご案内

2021 年度第 46 回日本化粧品学会「一般研究発表演題」申し込みはインターネット（以下 Web）を通して手続きを行っていただきます。

学会ホームページから、画面の指示に沿って手続きを進めてください。Web による登録、修正の手続きは、2021 年 2 月 28 日（日）まで可能です。

申し込み前に必ず下記の＜申し込みに関する注意事項＞をご一読ください。

＜申し込みに関する注意事項＞

（申し込みにあたって）

1. 責任発表者（登壇者）は、日本化粧品学会会員（正会員、学生会員）並びに賛助会員の所属社員に限らせていただきます。但し申し込み時点では、これから入会される方も歓迎です。
2. Web による手続きは、責任発表者以外による登録も可能ですが、必ず 1 演題ごとに受付番号を取得し、各演題と責任発表者（登壇者）を明確にして、記入漏れや誤った情報の入力がないよう十分ご注意ください。
3. 原稿に記載の共同発表者は全員ご登録ください。
4. 発表申し込みと同時に要旨原稿（Word ファイルのみ可）をご投稿ください。

（必要な環境・条件）

1. 下記の環境、ブラウザでのご利用を推奨しております。
*Windows 8, 10 をお使いの場合
Microsoft Edge 最新版（※IE モードは動作保証対象外です）
Google Chrome 最新版
Mozilla Firefox 最新版
*Macintosh (Mac OS 10.x) をお使いの場合
Safari 10.X 以上
Google Chrome 最新版
2. Mozilla Firefox 最新版メールアドレス（携帯電話のアドレスは使えません）を所持していること。
（文字入力）
 1. ギリシャ文字（ α , β , γ など）は、全角文字を利用し、ローマ数字（Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ など）は、アルファベットの I（アイ）、V（ブイ）、X（エックス）を使用してください。
 2. 機種依存文字（罫、① など）は用いないようにしてください。
 3. カタカナは、全角文字で入力してください。
 4. 外国語名称については、基本的に英語表記をお願いします。

※ 操作を始める前に要旨原稿ファイルをご用意ください。

【エントリーページ ※1 月中旬頃 HP にてオープン予定】

エントリーページに Word の原稿テンプレートを用意しています。ダウンロードしてお使いください。
Word ファイル（docx ファイルまたは doc ファイル）でご投稿ください。
※ 原稿作成については、次頁【発表要旨原稿執筆要領】に準拠してください。

＜申し込み手順＞

エントリーページより「発表申し込み」ボタンをクリックして、画面遷移に沿ってご登録ください。
※ 学会ホームページ (<http://www.jcss.jp/>) からアクセスできます。

発表要旨原稿執筆要領

原稿見本を参照の上、以下の要領で作成下さい。

なお、発表原稿は、必ずエントリーページからダウンロードした原稿テンプレートを使って作成下さい。

1. 要旨枚数：A4用紙 1枚（※稀にレターサイズでの作成が見受けられます。ご注意ください。）
マージン：上下 30mm、左右 20mm
※ページ番号、ヘッダー、フッターは付けないで下さい。
※モノクロ印刷です。カラー、網掛けなどのご使用は避けて下さい。
2. 指定書式：下記書式を厳守下さい。
行数：40文字×40行
字体：明朝体（英文は Times New Roman）
文字サイズ：和文演題名、英文演題名、氏名・所属：12ポイント
本文：10.5ポイント
3. 原稿は、頭から和文演題名、英文演題名をそれぞれセンタリングでご記載下さい。
次に、所属・共同発表者を書き、責任発表者（登壇者）には○印を付けて下さい。
本文は、所属の行から1行あけて書き出して下さい。
4. 製品の記載方法については、日本化粧品学会誌の執筆要領（製品使用試験成績の掲載について）をご参照下さい。
商品名など、商業的な宣伝行為と見做される記載がある場合には、不採択となることがありますのでご注意下さい。
5. ご不明な点は、下記まで（なるべく e-mail にて）お問い合わせ下さい。
日本化粧品学会大会事務局
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
TEL: 03-6824-9370 FAX: 03-5227-8632 E-MAIL: jcass-desk@bunken.co.jp

《書式に従った原稿見本》：

A4 用紙	↑ 30mm ↓
← 20mm →	<p>女性の皮下脂肪量の季節変動に関する実態解析 Analysis on the seasonal alteration of subcutaneous fat mass in women ○森 忍、佐藤 真由美、吉塚 直伸、武馬 吉則 (花王株式会社 研究所)</p> <p>【目的】 過剰な体脂肪の蓄積は健康や美容の点から種々の問題を生じさせている。一般的に女性では男性に比べ皮下脂肪の蓄積が大きく、季節による皮下脂肪量の変動が示唆されているが、年間での皮下脂肪量変動に関する体系的な検討が十分ではなかった。今回、20-30歳代女性を対象に各季節毎の実態調査を実施し、皮下脂肪量と摂取エネルギー、血清脂質レベル、レプチンレベルとの関連について検討した。</p> <p>【方法】 健常女性 13名(平均年齢 29.3歳)について食事・運動等の制限無く通常の生活を維持し、9月、1月、4月、7月の4時点で摂取カロリー、体重、体脂肪率、腹部と大腿部の周囲長と皮下脂肪量(超音波 Bモード, MRI)の計測、並びに血液分析による血清トリグリセリド(TG)、レプチン定量を行った。</p> <p>【結果】 1月には体重、体脂肪率、腹部・大腿部の周囲長及び皮下脂肪が増大し最高</p>